

自 2023年4月 1日

至 2024年3月 31日

2023年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

2023年度事業報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

概況

コロナ禍の影響により、近年は主にオンラインにて学会運営を行っていたが、2023年度は学会設立40周年の記念行事もあったことから、従来の対面での学会行事を主として開催しつつも、これまでに培ったノウハウ等を活用し、オンラインでの学会行事をあわせて開催した。対面で開催した春季学会大会個人研究発表や国際コミュニケーション・フォーラムについても、前年度に引き続き会員向けサービスの一環として録画映像の公開も行った、

財政面に関しては、学会行事の一部を対面で開催したこと、また常勤職員2名体制にて学会事業活動を支えたことにより、前年度と比べて支出が増えているが、行事を開催する上で他団体からの共催、協賛なども得たため、予算額を超過することなく実施することができた。次年度以降についても、健全な学会運営を行えるよう、経費等については引き続き見直し等を行っていく。

I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

1. 2023年度春季（第48回）及び2023年度秋季（第49回）情報通信学会大会

2023年度春季（第48回）情報通信学会大会は、7月8日（土）・9日（日）の2日間、早稲田大学早稲田キャンパス19号館（東京都新宿区西早稲田1-21-1）及びオンライン（Zoom Cloud Meetingsを利用）にて開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告、特別セッション並びに総務省の特別報告が行われた。また、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な1発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。本大会は「情報通信月間」の参加行事である。参加者は147名。

2023年度秋季（第49回）情報通信学会大会を12月9日（土）、オンライン（Zoom Cloud Meetingsを利用）にて開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告が行われた。本大会においては、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な発表に対して贈られるアーリーバード発表賞は該当者なしとなった。参加者は97名。

*プログラム等詳細は別紙1

2. 設立40周年記念国際コミュニケーション・フォーラム及び2023年度秋季（第49回）国際コミュニケーション・フォーラム

設立40周年記念国際コミュニケーション・フォーラムは、7月8日（土）、早稲田大学アジア太平洋研究センター、早稲田大学デジタル・ソサエティ研究所、公益財団法人KDDI財団との共催、公益財団法人電気通信普及財団の協賛で、早稲田大学早稲田キャンパス19号館（東京都新宿区西早稲田1-21-1）にて開催した。タイトルを【英文ブックシリーズ『A Book Series: Advances in Information and Communication Research』出版記念シンポジウム「新融合時代の情報通信・メディア政策」】とし、パネリストとして木村幹夫氏（一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長）、三本松憲生氏（株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部主任研究員）、村上陽亮（株式会社KDDI 総合研究所 執行役員 兼 KDDI research atelier シンクタンク部門長）、菅谷実氏（慶應義塾大学名誉教授）富田英典氏（関西大学社会学部教授）、三友仁志氏（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授）に登壇いただき、パネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは鈴木茂樹氏（株式会社横須賀リサーチパーク代表取締役社長）、川崎賢一氏（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授）

が務めた。本フォーラムは「情報通信月間」の参加行事である。参加人数は83名。

2023年度秋季（第49回）国際コミュニケーション・フォーラムは、12月4日（月）、公益財団法人KDDI財団との共催、公益財団法人電気通信普及財団・一般財団法人デジタル政策財団の協賛で、オンライン（Zoom ウェビナーを利用）にて開催した。タイトルを「NTT法 見直しの行方 ― 国際競争の渦中へ」とし、林秀弥氏（名古屋大学大学院法学研究科 教授）、森由美子氏（東海大学政治経済学部 教授）、山條朋子氏（株式会社 KDDI 総合研究所 KDDI research atelier シンクタンク部門 海外市場・政策リサーチグループエキスパート）、柳迫泰宏氏（総務省総合通信基盤局 電気通信事業部事業政策課 調査官）からそれぞれショートプレゼンテーションをいただいた。引き続きパネリストとして柳迫泰宏氏、林秀弥氏、森由美子氏、山條朋子氏に登壇いただき、パネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは菊池尚人氏（慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任教授）が務めた。参加人数は104名。

*プログラム等詳細は別紙2

3. 2023年度関西大会

2023年度関西大会は、2024年1月28日（日）に関西大学 梅田キャンパスにて開催した。「観光情報の共有と持続可能性」をテーマとし、須川亜紀子氏（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授）に基調講演をいただいた後、島田邦弘氏（埼玉県上里町副町長）、鈴木則道氏（一般社団法人アニメーターズ協会専務理事）にショートプレゼンテーションをいただいた。引き続きパネリストとして須川亜紀子氏、島田邦弘氏、鈴木則道氏に登壇いただき、パネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは谷村要氏（大手前大学現代社会学部 教授／情報通信学会関西センター委員会委員）が務めた。参加人数は43名。

*プログラム等詳細は別紙3

II 研究会等実施、機関誌等刊行、研究顕彰事業（公益目的事業2）

1. 研究会・ワークショップの開催

以下の11の研究会が活動を予定していたが、コロナ禍の影響により、中止を余儀なくされた研究会もあり、年間計21回の研究会がオンライン及び感染症対策を行った上で開催された。ワークショップについては、1回実施した。

また総務省情報通信政策研究所の学術雑誌『情報通信政策研究』の「立案担当者解説」という執筆カテゴリーの動画化について検討を行い、会員向けに当学会YouTubeチャンネルにてシリーズで公開した。

<研究会>

- ① 情報社会研究会 （1回開催）
- ② 情報行動研究会 （0回開催）
- ③ モバイルコミュニケーション研究会 （4回開催）
- ④ 情報知財研究会 （0回開催）
- ⑤ 情報通信経済法学研究会 （3回開催）
- ⑥ コンテンツビジネス研究会 （1回開催）
- ⑦ 災害情報と法と経済に関する研究会 （4回開催）
- ⑧ AIネットワーク法・政策研究会（1回開催）
- ⑨ デジタル・エコシステム研究会 （2回開催）

⑩ 次世代ネット政策研究会（2回開催）

⑪ 放送制度研究会（3回開催）

<ワークショップ>

・情報通信ワークショップ（1回開催）

*研究会および情報通信ワークショップの詳細は別紙4

2. 情報通信学会誌及び英文ブックシリーズの発行

投稿論文、投稿論説、寄稿論文及び学会大会と国際コミュニケーション・フォーラムの講演録等を掲載した情報通信学会誌第41巻第1号～第4号（146号～149号）を発行した。なお、第1号・第2号（146号・147号）及び第3号・第4号（148号・149号）は合本による発行としているが、第3号・第4号の合本号については、2024年4月の発送となった。電子媒体は、毎号をJ-STAGE（<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsicr/-char/ja/>）において公開している。

発行部数は800部であり、会員に送付されるほか、38団体が定期購読を行っている。

また、英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」については、第6巻、第7巻の執筆及び編集をしており、2024年度に出版予定である。

*情報通信学会誌各号の詳細は別紙5

3. 論文賞の授与

2022年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳正な選考が行われた。その結果2023年度春季（第48回）学会大会総会において、2022年度（第24回）情報通信学会論文賞が授与された。優秀賞1編。

*2022年度（第24回）情報通信学会論文賞の詳細は別紙6

III 管理部門

2023年度は、常勤職員2名で学会事業活動を支えた。

収支においては、会議や一部の学会行事等がオンラインにて開催したことから、学会事業全般において経費節減となったが、今後も適宜事業費の見直しを行い、会員数の増強等に引き続き取り組み、適正かつ効率的な事業運営に努める。

1. 会員の増減

2023年4月1日現在の会員数は、正会員（個人）632名、正会員（団体）1団体、学生会員6名、特別会員80名、賛助会員34団体であった。2023年度内に正会員（個人）11名、学生会員6名の入会があったものの、正会員（個人）59名、学生会員1名の退会があり、正会員（個人）、学生会員および特別会員を合わせた個人会員数は43名減の675名となった。賛助会員は、1団体の退会があり、33団体、118口となった。引き続き個人会員及び賛助会員の増強に向けて、役員を中心に入会の働きかけを行う。

*会員の増減状況及び会員種別構成については附属明細書に記載する。

2. 収支状況

2023年度正味財産増減計算書の経常収益計は19,327,224円、経常費用計は20,168,060円となった。経常収益のうち受取会費は16,403,000円、事業収益は1,075,800円であった。経常費用においては事業費が15,276,264円、管理費が4,891,796円であった。正味財産の期末残高は前年度より1,775,236円減の89,920,257円となった。

3. 評議員会及び理事会の開催

2023年度は、Zoom Cloud Meetingsを利用して、評議員会を3回、理事会を6回、常任理事会を1回開催した。また、今後の学会運営について常任理事会及び理事会において検討が行われ、事業費の見直し、会員の増強への取り組みを含め、今後の学会の方針及び事業体制等が話し合われた。

*評議員会、理事会、常任理事会の詳細は別紙7

4. 委員会等の開催

研究企画委員会、事業企画委員会、編集委員会、関西センター委員会がそれぞれ別紙のとおり開催された。また委員会においても、メーリングリストやZoom Cloud MeetingsやSlackを利用したオンライン会議や書面会議による検討及び議決を行った。

- ・研究企画委員会 (6回開催)
- ・事業企画委員会 (2回開催)
- ・編集委員会 (6回開催)
- ・関西センター委員会 (2回開催)

*委員会等の詳細は別紙8

事業報告の附属明細書

1. 会員の増減

【2023年度中の会員増減状況】

	正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計		
		団体数	口数			団体数	口数	個人	団体 (口数)	
2023年4月1日 現在報告会員数	632	1	3	6	80	34	119	718	35 (122口)	
年度内 増減	入会	11	0	0	6	0	0	0	17	0
	退会	△59	0	0	△1	0	△1	△1	△60	△1
	増減計	△48	0	0	5	0	△1	△1	△43	△1
2023年3月31日現 在報告会員数	584	1	3	11	80	33	118	675	34 (121口)	

2. 評議員・理事・監事

2023年度は、2023年度定時評議員会（2023年6月13日開催）において任期満了に伴う一部評議員及び全理事の選任が行われた。

○2023年度定時評議員会までの評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

評 議 員

	氏 名	所 属
評議員	井上 泰浩	広島市立大学 国際学部 教授 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	児玉 俊介	一般社団法人電波産業会 専務理事 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	辻 正次	大阪大学 名誉教授／神戸国際大学 学長・経済学部 教授 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	永野 浩介	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 *任期は2022年6月10日から2026年6月定時評議員会の日まで
同	廣松 毅	情報セキュリティ大学院大学 客員教授／日本学術振興会 人文・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	山下 東子	大東文化大学 経済学部 教授 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	山田 肇	東洋大学 名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで

(五十音順・敬称略)

理 事

(任期 2021年6月11日から2023年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
会長	三友 仁志	早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
副会長	江寄 正邦	一般財団法人海外通信・放送コンサルティング協力 顧問
同	川崎 賢一	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部 教授
常務理事	内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部 教授
同	岡田 朋之	関西大学総合情報学部 教授
同	穴倉 学	長崎大学経済学部 教授
同	実積 寿也	中央大学総合政策学部 教授
理事	飯塚 留美	一般財団法人マルチメディア振興センター ICT リサーチ&コンサルティング部 シニア・リサーチディレクター
同	大里 智之	NHK放送文化研究所 所長 *任期は2022年10月25日まで
同	河島 伸子	同志社大学経済学部/経済学研究科 教授
同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	三本松 憲生	株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任研究員
同	庄司 昌彦	武蔵大学社会学部 教授
同	田中 絵麻	明治大学国際日本学部 専任講師
同	千葉 聡史	NHK放送文化研究所 所長 *任期は2022年10月25日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授
同	宮崎 久美子	立命館アジア太平洋大学国際経営学部 教授/放送大学 客員教授/ 東京工業大学 名誉教授
同	村上 陽亮	株式会社KDDI 総合研究所 執行役員 兼 KDDI research atelier シンクタンク部門長

監 事

(任期 2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
監 事	池川 博士	株式会社ドコモCS 元 常勤監査役
同	篠原 聡兵衛	株式会社KDDI 総合研究所 シンクタンク部門 シニアアナリスト

(五十音順・敬称略)

*評議員、理事及び監事の所属先はいずれも2023年6月13日現在の役職を記載

○2023年度定時評議員会以降の評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである

評 議 員

	氏 名	所 属
評議員	井上 泰浩	広島市立大学 国際学部 教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	川崎 賢一	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	児玉 俊介	一般社団法人電波産業会 専務理事 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	西田 好輝	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	辻 正次	大阪大学 名誉教授／神戸国際大学 学長・経済学部 教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	永野 浩介	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 *任期は2023年6月13日から2023年7月14日まで
同	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	廣松 毅	東京大学 名誉教授／情報セキュリティ大学院大学 名誉教授 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで
同	北條 仁康	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 *任期は2023年7月14日から2026年6月定時評議員会の日まで
同	山下 東子	大東文化大学 経済学部 教授 *任期は2021年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで
同	山田 肇	東洋大学 名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長 *任期は2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで

(五十音順・敬称略)

理 事

(任期 2023年6月13日から2025年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
会長	内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部 教授
副会長	実積 寿也	中央大学総合政策学部 教授
同	鈴木 茂樹	株式会社横須賀リサーチパーク 代表取締役社長
同	三友 仁志	早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
常務理事	岡田 朋之	関西大学総合情報学部 教授
同	菊池 尚人	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任教授
同	新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部 教授
同	田中 絵麻	明治大学国際日本学部 准教授
理事	飯塚 留美	一般財団法人マルチメディア振興センター ICT リサーチ&コンサルティング部 シニア・リサーチディレクター
同	河合 伸悟	東京情報デザイン専門職大学情報デザイン学部 教授
同	河島 伸子	同志社大学経済学部/経済学研究科 教授
同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	小泉 真理子	京都精華大学マンガ学部 教授
同	高口 鉄平	静岡大学学術院情報学領域 教授
同	三本松 憲生	株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任研究員
同	穴倉 学	長崎大学経済学部 教授
同	庄司 昌彦	武蔵大学社会学部 教授
同	千葉 聡史	NHK放送文化研究所 元所長 *任期は2022年10月25日から2023年7月14日まで
同	松前 恵環	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 准教授
同	村上 陽亮	株式会社KDDI 総合研究所 執行役員 兼 KDDI research atelier シンクタンク部門長
同	渡辺 健策	NHK放送文化研究所 所長 *任期は2023年7月14日から2025年6月定時評議員会の日まで

(五十音順・敬称略)

監 事

(任期 2023年6月13日から2027年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
監 事	後藤 篤二	一般財団法人日本データ通信協会 専務理事
同	山條 朋子	株式会社 KDDI 総合研究所 KDDI research atelier シンクタンク 部門 海外市場・政策リサーチグループ エキスパート

(五十音順・敬称略)

*評議員、理事及び監事の所属先はいずれも2024年3月13日現在の役職を記載

2023 年度春季（第 48 回）情報通信学会大会

開催日程 2023 年 7 月 8 日（土） 10：30～14：00

7 月 9 日（日） 9：30～16：10

場所 早稲田大学早稲田キャンパス 19 号館（東京都新宿区西早稲田 1-21-1）

及びオンライン開催（Zoom Cloud Meetings を利用）

主催 公益財団法人情報通信学会

協賛 情報通信月間推進協議会 ＊情報通信月間参加行事

○プログラム

個人研究発表（アーリーバードの部、一般の部）、研究会報告、特別報告、特別セッション、総会

<個人研究発表>

学生の部（アーリーバード）

1. ゲーミフィケーションの利用目的と利用手段—文献調査の結果より
飯泉孝太（芝浦工業大学大学院）、中村広幸（芝浦工業大学）
2. ユーザー評価にみるネットスーパーの情報デザイン
岩上雄飛（芝浦工業大学学部生）、中村広幸（芝浦工業大学）
3. 実証分析から Twitter における炎上加担について検討—現実とネット上の主観的地位を注目する—
廉 志顕（立命館大学大学院）、竇 雪（立命館大学）
4. 個人情報保護法における権利の限界と法定責任の拡大
鄭コイン（一橋大学大学院生）
5. 国内外の TikTok に関する研究動向の差異 小泉文（武蔵大学学部生）、庄司昌彦（武蔵大学）
6. ICT 普及の成熟期に関する検証—215 カ国・地域の長期観察とロジスティックモデルを用いた
分析— 江口修平（九州大学大学院生）、鷲尾哲（情報通信総合研究所）、篠崎彰彦（九州大学）
7. 公益ニュースの「公的支援」の意義と課題 岡本洋太郎（駒澤大学大学院）

一般の部

1. Identification of Big Data and AI Data-driven Technologies Converging into the Broadcasting Value Chain: The Case of Netflix, BBC, and NHK
Santiago Ruiz Navas、Miyazaki Kumiko（立命館アジア太平洋大学）
2. A Case Study on value creation of Small Local Independent Cinemas in Japan
Shusuke Kanai（立命館アジア太平洋大学）
3. ネットワーク中立性とネットワーク使用対価—韓国での持続可能なネットワークインフラ投資
Fair Contribution をめぐる議論— 趙 章恩（KDDI 総合研究所）
4. Willingness to pay for online conspiracy theory media content: A case study of Japan
John W. Cheng（津田塾大学）、西川賢（津田塾大学）、小椋郁馬（茨城大学）、
Nicholas A. R. Fraser（Harvard University）
5. 子どものデジタル・ウェルビーイングに関する政策研究 齋藤長行（仙台大学）
6. 欧州デジタル市場法の意義と課題 杉崎弘（KDDI 総合研究所）
7. “インターネットリテラシー”の現状と今後の在り方の提案 森田英夫（DTK 企画）

8. 揺らぐオープンソース—WYRIWYG の確保における著作権ライセンスの限界—
八田真行（駿河台大学）
9. DAO を用いたビジネス事例とその法規制のあり方 康佳慧（KDDI 総合研究所）
10. Open RAN に関する諸外国の政策と通信事業者の動向 山條朋子（KDDI 総合研究所）
11. The Rise of Digital Platforms and the Emergence of the New Media Documentary Film Industry in China Seio Nakajima（早稲田大学）
12. エンドユーザーから見る生成 AI の社会的受容—日中韓 SNS 投稿の比較分析—
華金玲（慶應義塾大学） 白土由佳（文教大学） キムダジョン（KDDI 総合研究所）
13. 多段階的価格差別による収益モデルの形成とフリーライドを巡る一考察 柴田怜（国士舘大学）
14. Lotka-Volterra モデルを用いた従来インターネットネットワークとデータセンタ間接続ネットワーク間の競争分析 河合伸悟（東京情報デザイン専門職大学） 当麻哲哉（慶應義塾大学）
15. ネットを使った誘い出しリスクの傾向の予備分析—2022 年度の全国の高校生調査により—
田代光輝（中央大学）
16. インターネットガバナンスフォーラム(IGF)2023 年京都開催に向けた動き
前村 昌紀（日本ネットワークインフォメーションセンター）
17. ネット中立性と「公平な負担」—EU におけるビッグテックからネットワークインフラ費用徴収
枠組みについて— 王 威駟（KDDI 総合研究所）

<アーリーバード発表賞：1 件>

1. 実証分析から Twitter における炎上加担について検討—現実とネット上の主観的地位を注目する—
廉 志顕（立命館大学大学院） 竇 雪（立命館大学）

<特別報告>

1. 統計からみた我が国の ICT の現状 報告者：町田 成徳（総務省）

<研究会報告>

1. 情報社会研究会

報告：「障害者・高齢者と支援技術」の動向

報告者：中村広幸（芝浦工業大学） 松隈 開（芝浦工業大学学生）

2. コンテンツビジネス研究会

報告：スポーツ中継のネット配信化を検討する

報告者：福田泰久（スポーツジャーナリスト・元日本テレビ）

検討者：浅利光昭（メディア開発綜研） 司会：田村和人（東京経済大学）

3. モバイルコミュニケーション研究会

報告 1：モバイルメディアとソーシャルワーク

報告者：天笠邦一（昭和女子大学） 討論者：松下慶太（関西大学）

報告 2：メタバースと時間・場所の感覚

報告者：富田英典（関西大学） 討論者：上松恵理子（東京大学先端科学技術研究センター）

司会：小笠原盛浩（東洋大学）

4. 特別セッション：次世代ネット政策研究会

報告：大学教育における生成系 AI の活用と規制に関するディスカッション

報告者：実積寿也（中央大学） 鳥海不二夫（東京大学） 長倉克枝（日経 BP） 庄司昌彦（武蔵大学）

2023 年度秋季（第 49 回）情報通信学会大会

開催日程 2023 年 12 月 9 日（土）10：00～15：35
場所 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings を利用）
主催 公益財団法人情報通信学会

○プログラム

個人研究発表（アーリーバードの部、一般の部）、研究会報告、特別報告

<個人研究発表>

学生の部（アーリーバード）

1. 生成 AI に関する戦略・制度的仕組みの国際比較研究
恵畑翔太郎（慶應義塾大学学部生）、華金玲（慶應義塾大学）
2. 中高齢者層におけるメタバースの利活用分析
田中一慶（慶應義塾大学学部生）、華金玲（慶應義塾大学）
3. テレビの未来～メタバースが可能にする新たな配信コンテンツ～
齊藤隼希（慶應義塾大学学部生）、華金玲（慶應義塾大学）
4. デジタル技術が消費者行動に与えた影響
大谷隆軒（慶應義塾大学学部生）、華金玲（慶應義塾大学）
5. インターネット上におけるサードプレイスの概念整理
藤井美里（立命館大学大学院生）、寶雪（立命館大学）
6. 視覚障害者の運動不足を解消するための AR ゲーム
周超（芝浦工業大学大学院生）、中村広幸（芝浦工業大学）
7. 高齢者を対象にしたネットスーパーを含む買い物動向調査
岩上雄飛、園尾恭弘（芝浦工業大学学部生）、中村広幸（芝浦工業大学）
8. 中国における行政機関による個人情報取扱について法的規制 鄭コイン（一橋大学大学院生）
9. 公益ニュースの新たな収入源に関する考察～海外メディア関係者らの意識調査から
岡本洋太郎（駒澤大学大学院）
10. NEWS FRAMING ON SOCIAL MEDIA: A CASE STUDY OF RUSSIA-UKRAINE WAR
NARRATION ON FACEBOOK IN VIETNAM Mai Thi Dang Thu（広島市立大学大学院生）
11. オンライン情報源と新型コロナウイルス健康情報回避の関係における情報過多の媒介効果—日本に
おける事例— 久田有里子（早稲田大学大学院生）

一般の部

1. ラジオの媒体特性と広告への影響力に関する研究—番組への“熱量”と広告効果の関係—
木村幹夫（日本民間放送連盟研究所）
2. ネットワーク中立性とネットワーク使用対価—韓国 ISP とグローバル OTT の協力モデルと政府政
策への影響— 趙章恩（KDDI 総合研究所）
3. 米バイデン政権による情報通信分野の競争促進策—これまでの実績と残された課題の今後の見通し
— 山條朋子（KDDI 総合研究所）
4. ユニバーサル・サービス制度に関する国際比較研究—日中韓台を事例として
華金玲（慶應義塾大学）
5. Q&A サイトにおける質問文を用いたソーシャルリスニングの可能性—Yahoo!知恵袋における

iPhone と Android の比較からー 吉見憲二（成蹊大学）、谷本和也（佛教大学）、田中康裕（社会データ構造化センター）、岩井憲一（滋賀大学）、上田祥二（成蹊大学）、針尾大嗣（摂南大学）

6. デジタルプラットフォームによるコンテンツモデレーションの選好分析

兼保圭介（静岡大学大学院生）、高口鉄平（静岡大学）

7. 日本人はなぜ AI に好意的なのか 田中辰雄（横浜商科大学）

8. 金融業界における生成 AI 利活用の可能性とコンプライアンスの課題

康佳慧（KDDI 総合研究所）

<特別報告>

1. 令和 5 年度版 情報通信白書の概要 報告者：奥山英行（総務省）

<研究会報告>

1. モバイルコミュニケーション研究会

報告：自閉スペクトラムと仮想空間

報告者：金暲和（韓国在住 メディア人類学者・ネクストリテラシー研究所長）

討論者：富田英典（関西大学）

司会者：小笠原盛浩（東洋大学）

別紙 2

設立40周年記念国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	2023年7月8日(土) 15:00~17:30
場所	早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 711教室 (東京都新宿区西早稲田 1-21-1)
テーマ	英文ブックシリーズ『A Book Series: Advances in Information and Communication Research』出版記念シンポジウム「新融合時代の情報通信・メディア政策」
主催	公益財団法人情報通信学会
共催	早稲田大学アジア太平洋研究センター、早稲田大学デジタル・ソサエティ研究所、公益財団法人 KDDI 財団
協賛 後援	情報通信月間推進協議会、公益財団法人電気通信普及財団 *情報通信月間参加行事 総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

○プログラム

開会挨拶	中嶋聖雄 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 研究科長・教授)
英文ブックシリーズ概況説明	三友仁志 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授／
パネル・ディスカッション1『通信とメディアの政策課題』	
パネリスト:	木村幹夫 (一般社団法人日本民間放送連盟 研究所 所長) 三本松憲生 (株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任研究員) 村上陽亮 (株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員 兼 KDDI research atelier シンクタンク部門長)
モデレーター:	鈴木茂樹 (株式会社横須賀リサーチパーク 代表取締役社長)

パネル・ディスカッション2『情報通信社会の日本と世界の断層』

パネリスト:	菅谷実 (慶應義塾大学 名誉教授) 富田英典 (関西大学社会学部 教授) 三友仁志 (早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授)
モデレーター:	川崎賢一 (駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授)

<概要>

本年、当学会は設立 40 周年をむかえた。学会大会・研究会、学会誌などにおける研究発表といった従来からの活動に加え、英文ブックシリーズの刊行、国際フォーラムなどの諸事業を進め、学会活動全般にわたり、さらなる国際化を推進し、国際的に公益の増進に寄与するとともに、学会の社会的プレゼンスのさらなる向上を目指している。本シンポジウムでは、学会の国際化推進の柱の一つでもある英文ブックシリーズ『A Book Series: Advances in Information and Communication

Research』の出版を記念し、「新融合時代の情報通信・メディア政策」をテーマとして、日本の情報通信政策およびメディア・コンテンツ政策について、情報通信・メディア市場の状況判断、政策が基づくところの考え方、将来の方向性を、国際的なトレンドなど多様な視点から議論した。

2023 年度秋季（第 49 回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程 2023 年 12 月 4 日（月）18：00～20：00
場所 オンライン開催（プラットフォーム；Zoom ウェビナー）
テーマ NTT 法 見直しの行方 ― 国際競争の渦中へ
主催 公益財団法人情報通信学会
共催 公益財団法人 KDDI 財団、一般財団法人デジタル政策財団
協賛 公益財団法人電気通信普及財団
後援 総務省、富士通株式会社、日本電気株式会社、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所、デジタル政策フォーラム

○プログラム

開会挨拶 内山 隆（情報通信学会 会長／青山学院大学総合文化政策学部 教授）

ショートプレゼンテーション

林 秀弥（名古屋大学大学院法学研究科 教授）

森由美子（東海大学政治経済学部 教授）

山條朋子（株式会社 KDDI 総合研究所 KDDI research atelier

シンクタンク部門 海外市場・政策リサーチグループエキスパート）

柳迫泰宏（総務省総合通信基盤局 電気通信事業部事業政策課 調査官）

パネル・ディスカッション

パネリスト：林 秀弥、森由美子、柳迫泰宏、山條朋子

モデレーター：菊池尚人（慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 特任教授）

<概 要>

本フォーラムでは、現在 NTT 法改正・NTT のあり方を巡る議論が展開していることから、その歴史的経緯とこれまでの解釈を踏まえ、ユニバーサルサービス、安全保障、国際競争力及び市場再編等の多様な観点から、自由闊達なプレゼンテーション及び議論を行った。

2023年度関西大会

開催日程 2024年1月28日(日) 14:00~17:30
場所 関西大学 梅田キャンパス 7階 701教室
テーマ 「観光情報の共有と持続可能性」
主催 公益財団法人情報通信学会

○プログラム

開会挨拶 内山隆 (情報通信学会 会長/青山学院大学教授)

基調講演 須川亜紀子 (横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 教授)

ショートプレゼンテーション

島田邦弘 (埼玉県上里町副町長)

鈴木則道 (一般社団法人アニメツーリズム協会専務理事)

パネル・ディスカッション

パネリスト : 須川亜紀子、島田邦弘、鈴木則道

モデレーター : 谷村要 (大手前大学現代社会学部 教授/情報通信学会関西センター委員会委員)

閉会挨拶 岡田 朋之 (情報通信学会 常務理事・関西センター委員会委員長/関西大学教授)

<概要>

「コンテンツツーリズム」——コンテンツを活用して観光関連産業の振興を図るツーリズムを指す、この政策用語が登場して20年近くが経過した。当初、その出自もあり政策支援型の研究として進められたコンテンツツーリズム研究は、政策とは関係なく端を発した「アニメ聖地巡礼(アニメツーリズム)」研究や社会科学分野で観光学での「移動論的転回」の議論を取り込みながら発展し現在に至る。これらの研究では、コンテンツのファンと地域住民らとの交流を契機にした関係性の深化(地域資源の創出・管理、住民のファン化など)が着目され、観光の新しい形態を可視化する役割を担ってきた。しかし近年、この「コンテンツツーリズム」をめぐっては「コンテンツ」のメディア形式に焦点を置く(「アニメツーリズム」という名称に顕著)視点からの転換を進める動きがある(山村高淑『コンテンツツーリズム』2021など)。メディア横断・領域横断的にコンテンツが流通し、さらにはコンテンツが物理的場所をはじめとした多様なアクターと結びつく状況を踏まえ、コンテンツツーリズムを巡る議論は新たな局面を迎えているといえる。

一方、2025年大阪・関西万博開幕まであと2年となったが、開催後の地域活性化は跡地の活用問題と関連して重要な課題となっている。2020ドバイ万博の会場跡、EXPO CTY DUBAIがさまざまなイベント会場として活用されていることは大いに参考となり、持続可能なツーリズムの振興を見据えたこうした面での検討も求められている。

本大会は、この状況を踏まえ、コンテンツツーリズムにおける観光対象としての「コンテンツ」を映画やドラマ、音楽イベント等にも拡張して捉え直しつつ、関連分野の研究者や実践者・当事者をお招きしたうえで、講演とディスカッションを通じてコンテンツツーリズム研究の今後の展望を提示し、コンテンツと多様なアクターが結びついた社会の一側面を描き出した。

2023年度 研究会・情報通信ワークショップ開催状況

<研究会>

- ① **情報社会研究会**（主査：中村 広幸 幹事：井村 保・柴田 邦臣）1回開催
・2023年7月8日（土）10：30～12：00 早稲田大学早稲田キャンパス
「障害者・高齢者と支援技術」の動向
報告者：中村広幸（芝浦工業大学）、松隈開（芝浦工業大学学生）
- ② **情報行動研究会**（主査：橋元良明 幹事：松田美佐）0回開催
- ③ **モバイルコミュニケーション研究会**（主査：藤本憲一 幹事：富田英典・岡田朋之）4回開催
・2023年5月28日（日）16：30～18：30 オンライン開催
「位置情報データからみえる『移動と幸せ』の関係」
報告者：伊藤耕太（博報堂生活総合研究所） 討論者：松田美佐（中央大学）
司会者：富田英典（関西大学）
・2023年7月8日（土）10：30～12：00 早稲田大学早稲田キャンパス
第1報告「モバイルメディアとソーシャルワーク」
報告者：天笠邦一（昭和女子大学） 討論者：松下慶太（関西大学）
第2報告「メタバースと時間・場所の感覚」
報告者：富田英典（関西大学） 討論者：上松恵理子（東京大学先端科学技術研究センター）
司会：小笠原盛浩（東洋大学）
・2023年8月30日（水）9：20～12：00 KDDI research atelier
「音のVRとSync Sofa（デモ&体験）」
報告者：堀内俊治（KDDI 総合研究所） 討論者：富田英典（関西大学）
司会者：大戸朋子（東京医科大学）
・2023年12月9日（土）14：20～15：35 オンライン開催
「自閉スペクトラムと仮想空間」
報告者：金暲和（韓国在住 メディア人類学者・ネクストリテラシー研究所長）
討論者：富田英典（関西大学） 司会者：小笠原盛浩（東洋大学）
- ④ **情報知財研究会**（主査：鈴木雄一 幹事：玉井克哉）0回開催
- ⑤ **情報通信経済法学研究会**（主査：林秀弥 幹事：福田雅樹）3回開催
・2023年5月29日（月）14：00～15：30 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings 使用）
「情報銀行」における健康・医療分野の要配慮個人情報の取扱いについて」
報告者：内田 雄一郎（総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 デジタル経済推進室長）
司会：林秀弥（名古屋大学）
・2023年7月24日（月）16：30～17：30 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings 使用）
「サイバーセキュリティの社会科学」
報告者：林紘一郎（情報セキュリティ大学院大学名誉教授）
討論者：谷脇康彦（デジタル政策フォーラム顧問） 司会者：林秀弥（名古屋大学）
共催：デジタル政策フォーラム
・2024年2月23日（金）17：00～18：30 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings 使用）
「欧州メディア自由法から放送サービスを考える」
報告者：佐々木勉（総務省情報通信政策研究所特別研究員）、林秀弥（名古屋大学）

討論者：吉田真人株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS 顧問（元総務審議官）、
武智健二（元総務省情報通信政策局長） 司会者：林秀弥

⑥ **コンテンツビジネス研究会**（主査：大場吾郎 幹事：田村和人、浅利光昭） 1回開催

・2023年7月8日（土）10：30～12：00 早稲田大学早稲田キャンパス

「ネットにシフトするスポーツ中継」

報告者：福田泰久（スポーツジャーナリスト・元日本テレビ）

討論者：浅利光昭（メディア開発綜研） 司会者：田村和人（東京経済大学）

⑦ **災害情報と法と経済に関する研究会**（主査：林秀弥 幹事：井上禎男、西澤雅道） 4回開催

・2023年10月21日（土）13：00～16：00 オンライン開催（YouTubeによるライブ配信等）

「激甚化・頻発化する災害と地区防災計画—地区防災計画制度施行十年目を迎えて—」

※地区防災計画学会シンポジウム（第43回研究会）

登壇者：室崎益輝（神戸大学）、矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、稲田修一（早稲田大学）、伊藤弘人（東北医科薬科大学） 磯打千雅子（香川大学）

モデレーター：西澤雅道（元福岡大学）

総合司会：坊農豊彦（大阪公立大学）、金思穎（専修大学）

・2023年12月9日（土）15：00～18：00 オンライン開催（YouTubeによるライブ配信等）

「関東大震災100年と地区防災計画」※地区防災計画学会シンポジウム（第44回研究会）

登壇者：矢守克也（京都大学）、加藤孝明（東京大学）、鷲山龍太郎（元横浜市立小学校校長・防災塾だるま塾長）、磯打千雅子（香川大学）、杉山高志（九州大学）

モデレーター：西澤雅道（元福岡大学）

総合司会：西田佳弘（大阪公立大学）、坊農豊彦（大阪公立大学）、金思穎（専修大学）

・2024年3月2日（土） 9：00～17：30 オンライン開催（YouTubeによるライブ配信等）

「地区防災計画制度施行10年を迎えて—23年度モデル地区の状況—」

「能登地震を受けた地区防災計画づくりの在り方」※地区防災計画学会第10回大会

登壇者：磯打千雅子（香川大学）、金思穎（専修大学）、田中耕司（兵庫県立大学・大阪工業大学）、田中隆文（名古屋大学）、中世古二生（岐阜県立看護大学）、竹中篤（一般財団法人関西情報センター） モデレーター：西澤雅道（元福岡大学准教授）

登壇者：室崎益輝（神戸大学）、加藤孝明（東京大学）、布施匡章（近畿大学）、

林秀弥（名古屋大学） モデレーター：矢守克也（京都大学）

⑧ **AIネットワーク法・政策研究会**（主査：福田雅樹 幹事：成原慧） 1回開催

・2024年2月16日（金）10：30～12：00

大阪大学東京オフィス（オンラインとのハイブリッド開催）

「デジタルツインをめぐる倫理的・法的・社会的課題」

主催：情報通信学会AIネットワーク法・政策研究会、大阪大学社会技術共創研究センター 総合研究部門

共催：理化学研究所革新知能統合研究センター分散型ビッグデータチーム

報告者：三部裕幸（大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授、
弁護士〔渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 パートナー〕）

討論者：成原慧（九州大学大学院法学研究院准教授）

司会者：福田雅樹（大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門長・教授〔大学院法学
研究科教授兼任〕、理化学研究所革新知能統合研究センター客員主管研究員）

- ⑨ **デジタル・エコシステム研究会**（主査：岡田朋之、幹事：長谷川想、北村順生） 2回開催
- ・2023年10月6日（金）17:00～18:30 KANDAI Me RISE 関西大学梅田キャンパス 4階ラボ
「グローバルトレンドから見る、これからの日本のデジタルオーディオ広告」
講演者：村上正大（Spotify Japan K.K. Account Director） モデレーター：長谷川想（電通）
 - ・2024年3月14日（木）17:00～18:30 KANDAI Me RISE 関西大学梅田キャンパス 4階ラボ
「グローバルトレンドから見る、これからの日本のデジタルオーディオ広告」
講演者：石井隆祐（エヌ・ティ・ティ・ソルマーレ株式会社）
モデレーター：河村康司（西日本電信電話株式会社）
- ⑩ **次世代ネット政策研究会**（主査：庄司昌彦、幹事：高口鉄平） 2回開催
- ・2023年7月1日（土）および2日（日）（国際大学 GLOCOM）
「生成 AI の利活用ワークショップ」
参加グループ：関東学院大学、武蔵大学、明治大学、中央大学、静岡大学
「生成 AI に関する特別講演」
講演者：鳥海不二夫（東京大学）
「日本新聞博物館（ニュースパーク）」見学
 - ・2023年12月16日（土）（明治大学中野キャンパス）
「次世代ネット政策に関する研究発表会」
口頭発表：明治大学、武蔵大学、静岡大学、ポスター発表：武蔵大学、静岡大学
「生成 AI に関する特別講演」
講演者：小沢高広（漫画家）
- ⑪ **放送制度研究会**（主査：菅谷実 幹事：西岡洋子、米谷南海） 3回開催
- ・2023年10月21日（土）ハイブリッド形式にて開催（慶應義塾大学）
「放送制度の行方（キックオフミーティング）」報告者：菅谷実（慶應義塾大学）
 - ・2023年11月18日（土）ハイブリッド形式にて開催（青山学院大学）
「デジタル時代における放送制度の諸課題に関する検討」報告者：内山隆（青山学院大学）
 - ・2024年3月9日（土）ハイブリッド形式にて開催（慶應義塾大学）
「地上波放送における地域別格差と今後の動向」報告者：森由美子（東海大学）

<情報通信ワークショップ>

第1回情報通信ワークショップ 「コンテンツビジネスにおける AI 利活用の現在」

日時：2024年3月18日（月）17:30～19:00 東京ポートシティ竹芝オフィスタワー8F CiP

主催：一般社団法人 CiP 協議会

共催：デジタル政策フォーラム、公益財団法人情報通信学会

登壇者：金井文幸（日本音楽制作者連盟 専務理事）

陸川和男（キャラクターブランド・ライセンス協会 専務理事）

川口洋司（日本オンラインゲーム協会 事務局長）

内山 隆（情報通信学会 会長/青山学院大学総合文化政策学部総合文化政策学科 教授）

花光宣尚（慶應義塾大学院メディアデザイン研究科 特任助教）

湯本博信（総務省大臣官房総括審議官（情報通信担当））

中村伊知哉（CiP 協議会理事長）

モデレーター：菊池尚人（情報通信学会 常務理事/デジタル政策財団 理事）

開催趣旨：主催団体となる CiP 協議会では AI の登場によって大きく変わりつつあるコンテンツの制作、流通、受容についての変化を共有し、日本から新たな利活用の事例を作り世界に打って出る機会を探るプロジェクト「AI×コンテンツ研究会」をスタートした。

昨年の ChatGPT をはじめとする生成 AI の爆発的な浸透の過程では諸外国の企業、研究などが主役として躍動し、民生用のツールも広く普及し始めてきた。一方、コンテンツビジネスにおいてはその利活用は未だ限定的であり、世界中で愛されるコンテンツを持つ日本の産学官が利活用の研究を進めることにより、世界をリードしていくことが期待できる。

「AI×コンテンツ研究会」ではキックオフイベント「コンテンツビジネスにおける AI 利活用の現在」を開催し、本イベントではコンテンツ関連の各業界団体、アカデミア、政府などから幅広く登壇していただき現時点においてコンテンツ産業の中で AI 活用がどのように取り込まれているかを明示し、これからの進むべき方向性について議論した。

本イベントはデジタル政策フォーラム及び当学会も共催となっており、「AI×コンテンツ研究会」プロジェクトでは今後も関連する各企業、団体等とのネットワークを通じた活動していく。

情報通信学会誌（第41巻第1号～第41巻第4号）

情報通信学会誌第41巻第1号 通算第146号（第2号と合本）

掲載論文

- ・「プライバシー説明の表示方法がアプリ利用者の理解度及び利用意向に与える影響の実証分析」
（大磯一、依田高典、黒田敏史）

掲載論説

- ・「FTTH市場形成期の競争環境を巡る支配的事業者のシナリオ選択に関する経済合理性分析」
（福永成徳、猿渡康文）

掲載寄稿論文

- ・「エンパワメントの文脈から見た市民のための情報 教育の意義と内容」（斎藤俊則）

情報通信学会誌第41巻第2号 通算第147号

掲載論説

- ・「デジタル時代におけるメディアの自由とメディア政策」（上田一紀）

特集 2023年度春季（第48回）情報通信学会大会

／設立40周年記念国際コミュニケーション・フォーラム

掲載寄稿論文

- ・「AI時代におけるクリエイター・エコノミーの展望」（田中絵麻）

情報通信学会誌第41巻第3号 通算第148号（第4号と合本）

掲載論文

- ・「アジア諸国における周波数割当政策と移動体通信事業者の効率性分析」（近藤勝則）

掲載論説

- ・「ネットワーク増強への公平な負担（fair contribution）を巡る議論の進展：欧州の提案を中心に」（実積寿也）

掲載寄稿論文

- ・「こどもデータ及び教育データの取扱いにおける同意に関する考察」（板倉陽一郎・藤村明子）

情報通信学会誌第41巻第4号 通算第149号

特集1 2023年度秋季（第49回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論説

- ・「余剰分析を用いたFTTH市場形成期における規制当局のシナリオ選択に関する政策評価」
（福永成徳、猿渡康文）

掲載寄稿論文

- ・「フェイクニュース対策における「ニューストラスト」の重要性」（藤代裕之）

2022 年度（第 24 回）情報通信学会論文賞

優秀賞 1 論文

第 40 巻 4 号（145 号）掲載論文（2023 年 3 月発行）

「News on Fake News: The Framing of Fake News in Japanese Newspapers, 2016-2021」

John W. Cheng（津田塾大学）

受賞理由：本論文は、現代的な問題意識のもと、関連するデータを丹念に収集し、近年社会科学分野で注目されているテキスト解析の手法を取り入れ信頼性の高い分析を行った、優れた論文である。また、研究対象についても、本学会における重要な論題の一つであり、本論文で得られた成果は今後の本学会の研究活動に資するものであると評価できる。

評議員会及び理事会の開催

<評議員会>

第33回評議員会

日 時：2023年6月13日（火）13：00～14：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本評議員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（評議員）神野新、児玉俊介、永野浩介、廣松毅、山下東子、山田肇
（理事）三友仁志、江寄正邦（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 2022年度事業報告について
2. 2022年度決算報告について
3. 2023年度事業計画及び2023年度収支予算について
4. 任期満了に伴う一部評議員の選任
5. 任期満了に伴う理事の選任
6. 任期満了に伴う監事の選任
7. 寄附金等の取扱いに関する規則（寄附金等取扱規則）に関する細則について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第34回みなし評議員会

日 時：2023年7月14日（金）

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

出席者：（評議員）井上泰浩、神野新、佐藤靖夫、菅谷実、辻正次、永野浩介、廣松毅、
児玉俊介、山下東子、山田肇

議 案：

1. 評議員の辞任にともなう、評議員の選任
2. 理事の辞任にともなう、理事の選任

第35回評議員会

日 時：2024年1月25日（木）10：00～10：21

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本評議員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（評議員）井上泰浩、神野新、川崎賢一、児玉俊介、菅谷実、西田好輝、北條仁康、廣松毅、
山下東子（理事）内山隆、鈴木茂樹（監事）山條朋子

議 案：

1. 周年事業基金積立資産の取崩と再積立について
2. 公益事業促進基金への積立について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 資金運用状況の報告

<理事会>

第75回理事会

日 時：2023年5月22日（月）16：00～17：33

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 三友仁志、江寄正邦、川崎賢一、新保史生、内山隆、宍倉学、実積寿也、
飯塚留美、河島伸子、木村幹夫、三本松憲生、田中絵麻、千葉聡史、林秀弥、
宮崎久美子、村上陽亮

(監事) 池川博士、篠原聡兵衛（役員以外）総務プロジェクト参与 鈴木茂樹

議 案：

1. 2022年度事業報告について
2. 2022年度決算報告について
3. 2023年度定時評議員会の招集
4. 選挙によらない次期理事候補者の推薦
5. 次期監事候補者の推薦
6. 2022年度（第24回）情報通信学会論文賞の決定
7. 寄附金等の取扱いに関する規則（寄附金等取扱規則）に関する細則について
8. 入会承認及び退会報告
9. 終身会員の承認

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第76回理事会

日 時：2023年7月3日（月）16：30～17：30

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 内山隆、飯塚留美、河合伸悟、河島伸子、菊池尚人、木村幹夫、
小泉真理子、高口鉄平、宍倉学、実積寿也、新保史生、鈴木茂樹、田中絵麻、
松前恵環、三友仁志、村上陽亮（監事）後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 会長（代表理事）の選定について
2. 副会長・常務理事の選定について
3. 第34回（臨時）評議員会の招集について
4. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第 77 回理事会

日 時：2023 年 8 月 2 日（水）14：30～15：54

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（理事）内山隆、飯塚留美、岡田朋之、河合伸悟、菊池尚人、木村幹夫、小泉真理子、高口鉄平、三本松憲生、宍倉学、新保史生、鈴木茂樹、松前恵環、三友仁志、村上陽亮、渡辺健策（監事）後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 常務理事の選定について
2. 委員会委員の選任について
3. 2023 年度秋季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
4. 資金運用執行責任者任命の承認について
5. 正会員表彰受賞者について
6. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 寄附の申込について

その他

1. 次年度以降の学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
2. 理事会の議決方法について

第 78 回理事会

日 時：2023 年 10 月 27 日（金）14：00～14：40

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（理事）内山隆、飯塚留美、岡田朋之、河合伸悟、菊池尚人、木村幹夫、小泉真理子、高口鉄平、三本松憲生、鈴木茂樹、田中絵麻、三友仁志、村上陽亮、渡辺健策（監事）後藤篤二、山條朋子

議 案：

1. 2023 年度秋季情報通信学会大会参加費について
2. 入会承認及び退会報告
3. 職員の特別手当の支給について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 委員会委員について

その他

1. 他学会の行事開催日程について

第 79 回理事会

日 時：2023 年 12 月 18 日（月）19：00～19：50

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 内山隆、飯塚留美、岡田朋之、河合伸悟、河島伸子、菊池尚人、木村幹夫、小泉真理子、高口鉄平、三本松憲生、宍倉学、新保史生、鈴木茂樹、田中絵麻、三友仁志、村上陽亮(監事) 後藤篤二、山條朋子

議案：

1. 第35回(臨時)評議員会の招集について
2. 周年事業促進基金積立資産の取崩と再積立について
3. 公益事業促進基金への積立について
4. 2024年度春季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
5. 入会承認及び退会報告

検討事項：

1. 2024年度事業計画と予算について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 資金運用状況の報告
3. 他団体からの依頼について

第80回理事会

日時：2024年3月4日(月) 16:05~16:55

場所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 飯塚留美、河合伸悟、菊池尚人、小泉真理子、高口鉄平、三本松憲生、宍倉学、庄司昌彦、新保史生、鈴木茂樹、三友仁志、村上陽亮、渡辺健策
(監事) 後藤篤二、山條朋子

議案：

1. 2024年度事業計画について
2. 2024年度収支予算について
3. 職員の特別手当の支給について
4. 入会承認及び退会報告

検討事項：

1. 情報通信学会誌への投稿数について
2. 2025年度学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて

報告事項：

1. 業務執行状況の報告
2. 寄附の申込について

<常任理事会>

第27回常任理事会

日時：2023年12月18日(月) 18:00~18:50

場所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本常任理事会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、鈴木茂樹、三友仁志、岡田朋之、菊池尚人、新保史生

議案：

1. 2024 年度事業計画及び予算について
2. 2023 年度秋季国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 今後の学会運営全般について
4. その他

委員会等の開催

<研究企画委員会>

第 1 回研究企画委員会

日 時：2023 年 7 月 15 日（土）10：00～11：30

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：実積寿也、飯塚留美、村上陽亮

議 案：

1. 2023 年度春季（第 48 回）学会大会アーリーバード発表賞について

第 2 回研究企画委員会

日 時：2023 年 10 月 12 日（木）9：00～11：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：田中絵麻、庄司昌彦、飯塚留美、三本松憲生、村上陽亮

議 案：

1. 2023 年度秋季学会大会個人研究発表について
2. 委員会について

第 3 回研究企画委員会

日 時：【第 1 回】2024 年 2 月 6 日（火）18：30～19：30

【第 2 回】2024 年 2 月 8 日（木）12：00～13：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：【第 1 回】田中絵麻、庄司昌彦、飯塚留美、村上陽亮

【第 2 回】田中絵麻、三本松憲生、平井智尚

議 案：

1. 2024 年度春季学会大会について
2. 研究会について
3. 2023 年度秋季学会大会アーリーバード発表賞について
4. 2023 年度秋季学会大会の動画公開について

<事業企画委員会>

第 1 回事業企画委員会

日 時：2023 年 10 月 20 日（金）14：00～15：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、菊池尚人、奥律哉、木村幹夫、高橋知樹、田村和人、中井秀範、前村昌紀、
山口真一、渡辺健策

議 案：

1. 事業企画委員の紹介及びその役割と業務について
2. 2023年度秋季国際コミュニケーション・フォーラムについて

第2回事業企画委員会

日 時：2024年1月15日（月）16：30～17：17

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、菊池尚人、奥律哉、田村和人、中井秀範、前村昌紀、渡辺健策

議 案：

1. 2024年度事業計画について

報告事項：

1. 2023年度秋季国際コミュニケーション・フォーラムについて

<編集委員会>

第1回編集委員会

日 時：2023年5月16日（火）18：00～19：30

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：宍倉学、木村幹夫、國井昭男、栗原佑介、黒田敏史、篠原聡兵衛、福田雅樹、山田徳彦

議 案：

1. 2022年度論文賞受賞候補論文について

報告事項：

1. 学会誌6月号査読状況について
2. 学会誌6月号編集状況について

第2回編集委員会

日 時：2023年6月8日（木）15：00～16：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：宍倉学、勝又壮太郎、北村智、木村幹夫、國井昭男、栗原佑介、桑原俊、高口鉄平、

齊藤邦史、篠原聡兵衛、高田義久、田尻信行、田中絵麻、中嶋聖雄、中村彰宏

議 案：

1. 9月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 9月号寄稿論文について

報告事項：

1. 学会誌6月号の編集状況について

検討事項：

1. 査読報告書への投稿者からの問い合わせ対応について

第3回編集委員会

日 時：2023年10月5日（木）19：00～20：06

場 所： 公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：新保史生、岡村優希、海後宗男、上村圭介、河合伸悟、河井理穂子、河島伸子、
清原聖子、栗原佑介、桑原俊、斉藤邦史、齋藤長行、宍倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、
藤代裕之、松前恵環、村上康二郎

議 案：

1. 編集委員会委員の紹介及びその役割と業務について
2. 学会誌担当委員の決定について
3. 12月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について

報告事項：

1. 学会誌9月号の編集状況について

第4回編集委員会

日 時：2024年3月13日（水）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：新保史生、赤坂亮太、井上禎男、岡村優希、海後宗男、勝又壮太郎、上村圭介、河合伸悟、
河井理穂子、河島伸子、清原聖子、栗原佑介、桑原俊、小泉真理子、高口鉄平、斉藤邦史、
齋藤長行、宍倉学、橘雄介、八田真行、深見嘉明、藤代裕之、松前恵環、村上康二郎、
湧口清隆

議 案：

1. 学会誌150月号投稿論文の担当委員の選出について
2. 情報通信学会誌投稿規程の見直しについて
3. 2023年度論文賞受賞候補論文の募集について

<関西センター委員会>

第1回関西センター委員会

日 時：2023年10月6日（金）15：30～16：30

場 所：関西大学梅田キャンパス4階ラボ

出席者：岡田朋之、奥田義貴、河村康司、北村順生、長谷川想

議 案：

1. 2023年度関西大会について
2. 2023年度第2回研究会について

第2回関西センター委員会

日 時：2024年1月19日（金）13：00～13：28

場 所： 公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：岡田朋之、河村康司、北村順生、長谷川想、谷村要、松下慶太、脇浜紀子

議 案：

1. 2024年度関西大会について
2. 2023年度研究会及び2024年度研究会について
3. 2023年度関西大会の集客協力について